

X線アンギオグラフィ装置 清掃・消毒ガイド

「取扱説明書 (2B308-309JA) 」第18章 より、抜粋。

18. 4 清掃について

製品ご使用後は、製品本体、オプション機器、および室内を清掃してください。

なお、清掃を清掃業者などに委託している場合は、下記警告と注意を、清掃業者に必ず指示してください。

- ⚠警告**
- (1) 血液が付着した場合など消毒が必要な場合は、「18.5 消毒について」をご覧の上適切な消毒作業を行ってください。
 - (2) 製品の電源を切った状態で清掃してください。電源が入っていると誤動作の原因となり、事故を起こすおそれがあります。また、水や洗剤などの液体が製品の内部に入ると漏電の原因となり、感電のおそれがあります。
 - (3) 清掃中に保持装置のアームの移動が必要になった場合は、保持装置周辺の水や洗剤などの液体を十分拭き取った状態で電源を入れ、通常の操作で移動してください。アームを無理やり押して動かすと、エラー発生の原因になります。アーム移動後は速やかに電源を切ってください。
 - (4) 製品に、水や洗剤などの液体をかけたり噴霧しないでください。製品の内部に液体が入ると、故障や事故の原因となります。
 - (5) 床に、水や洗剤などの液体をまかないでください。製品に液体がかかったり、ケーブル配線溝に液体が入ると、故障や事故の原因となります。
 - (6) 保持装置やモニタ台の上部、および天井レールなど高所の清掃は、必ず清掃業者に依頼してください。脚立等に乗っての作業は転倒の危険があります。絶対に行わないでください。
 - (7) FPD カバーなど保持装置のアーム上部を清掃する場合は、アーム回転角度またはスライド角度を 90° にセットし、清掃部を低い位置に移動してから清掃してください。

注意

シンナやベンジンなどの溶剤や、コンパウンドなどの研磨剤を含むものを、製品の清掃に使用しないでください。拭いた部分が白く曇ったり、傷が付くことがあります。

(1) 製品の清掃

中性洗剤をつけた布巾で、汚れを拭き取ってください。

中性洗剤は、洗剤メーカーが指定する濃度に薄めてご使用ください。布巾は、洗剤が垂れないように固く絞ってご使用ください。

汚れを拭き取った後、乾いた布巾で乾拭きしてください。

(2) 室内の清掃

室内のゴミや塵を、掃除機で吸い取ってください。また、床を水拭きする場合は、水が垂れないように固く絞ったモップや布巾をご使用ください。

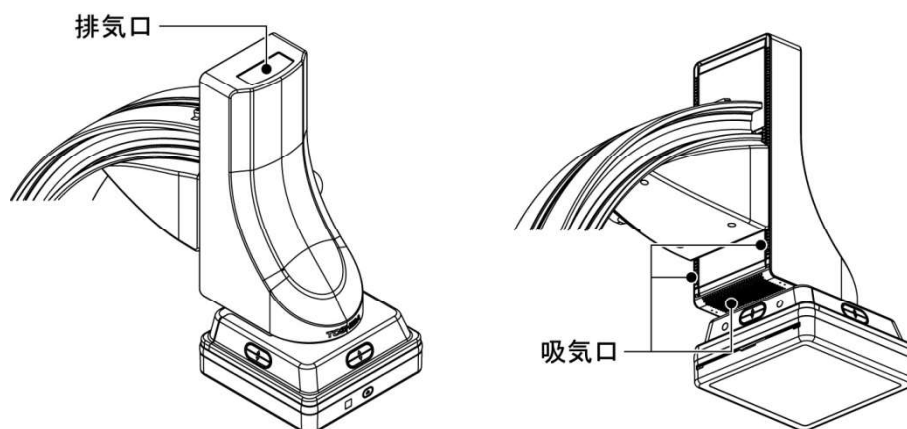
(3) 天板マット (XBTM-001A) 用カバーの洗濯

カバーの内側が表側になるようにめくり返し、ファスナを開けたまま洗濯してください。また、次の点に注意してください。

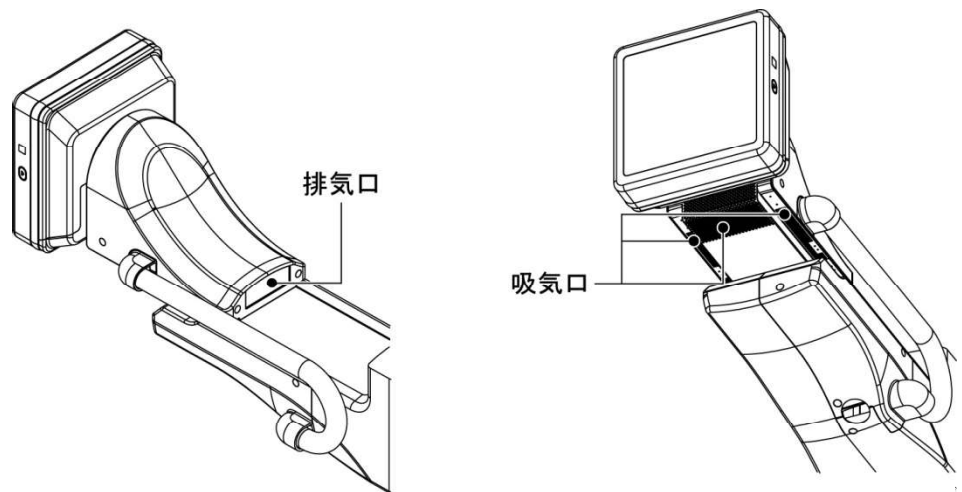
- ・ 水温は 95℃以下で洗濯してください。
- ・ 塩素系漂白剤による漂白、ドライクリーニング、およびアイロン掛けはできません。
- ・ 乾燥機を使う際は、低温設定にしてください。
- ・ 天板マットは洗濯できません。「(1) 製品の清掃」に従って清掃してください。

(4) 空冷式 FPD の清掃

空冷式 FPD を組み合わせている場合は、FPD の吸気口および排出口から、ほこりを除去してください。

(a) CAS-880A 組み合わせ空冷式 FPD の吸気口・排気口部

(b) CAS-820B 組み合わせ空冷式 FPD の吸気口・排気口部



18. 5 消毒について

消毒の専門知識を有する方の指示に従って、製品本体および付属品やオプション機器表面の消毒作業を行ってください。

- ⚠警告**
- (1) 消毒後、室内を十分に換気してから電源を入れてください。室内に引火性のガスが残留していると、電源を入れたときに火災や爆発を起こすおそれがあります。
 - (2) 製品に消毒剤をかけたり噴霧しないでください。製品の内部に消毒剤が入ると、故障や事故の原因となります。
 - (3) 製品の電源を切った状態で消毒してください。電源が入っていると、操作スイッチに触れた場合に、製品の思わぬ動作により事故を起こすおそれがあります。
- また、液体が製品の内部に入った場合、火災や感電のおそれがあります。

- 注意**
- (1) 次のような消毒剤を使用しないでください。製品に損傷を与えます。消毒により損傷した製品は、性能および安全性を保証できません。
 - ・ 塩素系消毒剤など金属やゴムに対して強い腐食性を持つ消毒剤
 - ・ 金属・プラスチック・ゴムおよび塗装のうち一つでも使用が不適と取扱説明書に注意書きのある消毒剤
 - ・ ホルマリンガスやスプレータイプのように、製品の内部に入り込むおそれのある消毒剤
 - (2) 製品の消毒は最小限にするように心がけてください。長期間の消毒により、外装に退色やひび割れが起こる場合や、ゴムやプラスチックが劣化する場合があります。消毒により製品に変化が表れた場合は、直ちに製品の使用を中止し、最寄りのサービスセンタに修理を依頼してください。
 - (3) 製品の消毒後は消毒剤を十分に拭き取ってください。消毒剤の影響により、外装に退色やひび割れが起こる場合や、ゴムやプラスチックが劣化する場合があります。消毒により製品に変化が表れた場合は、直ちに製品の使用を中止し、最寄りのサービスセンタに修理を依頼してください。

(1) 消毒剤

この製品は次の消毒剤を使用できます。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分ご確認の上ご使用ください。

- グルタラールアルデヒド : 2.0w/v%
- 塩化ベンザルコニウム : 0.2w/v%
- 消毒用エタノール : 76.9 ~ 81.4v/v%溶液（操作卓前面パネルの合成ゴムの消毒には使用しないでください。）

(2) 消毒方法

消毒の前に消毒する部分を清掃してください。清掃後、消毒剤を含ませ軽く絞った布巾で、次の箇所を拭いてください。このとき、製品内部に消毒剤が入らないように注意してください。

- 患者が触れた部分
- 操作者が触れた部分
- 血液など体液が付着した部分

清掃については「18.4 清掃について」をご覧ください。

18. 6 滅菌について

この製品は滅菌処理をすることはできません。滅菌が必要なときは、滅菌キャップやシートなどを使用してください。

18. 7 製品の廃棄について

この製品には、X線遮蔽用の鉛およびバッテリーなど、屋外に放置すると環境を汚染するおそれのある物質が含まれております。

製品を廃棄処分にするときは、最寄りの当社サービスセンタへ必ずご連絡ください。